

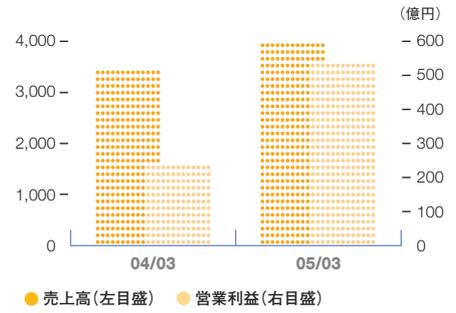
商船三井 AT A GLANCE

2005年3月期より新たに採用したセグメントに基づき、事業の概要をご説明します。(2003年3月期については本セグメントによる業績の数値はありませんので、2年間の数値を掲載しています。)

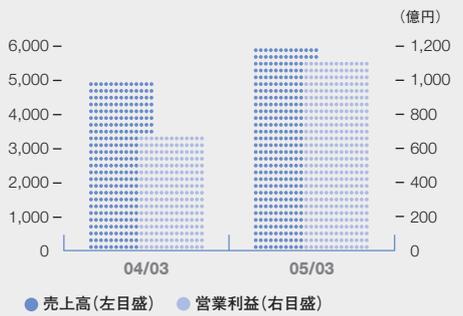
コンテナ船事業



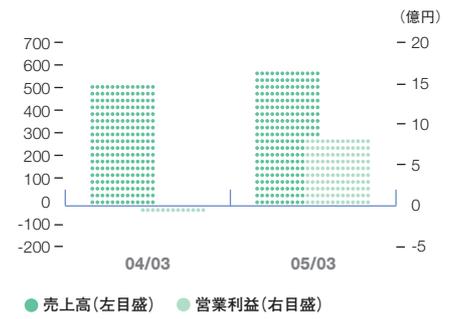
業績



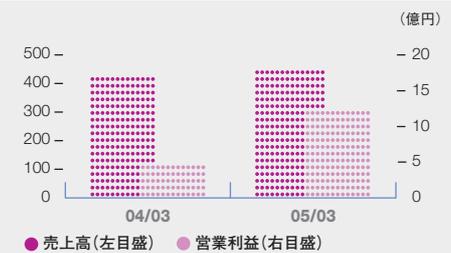
不定期専用船事業



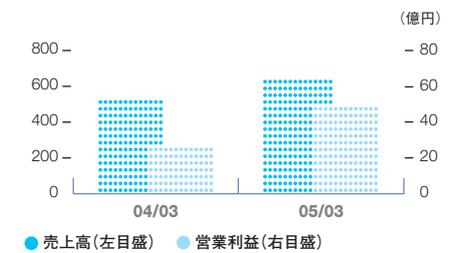
ロジスティクス事業



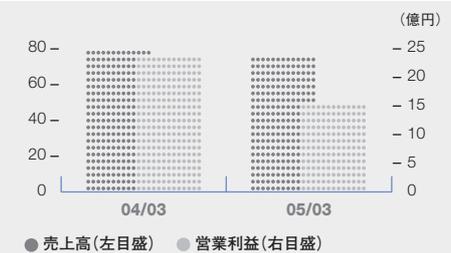
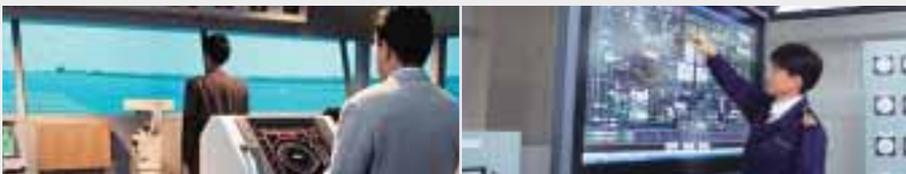
フェリー・内航事業



関連事業



その他事業



売上高、営業利益の金額は34ページをご参照下さい。

事業概要

当社は78隻のコンテナ船を擁し、米州・欧州・アジアをはじめ世界の主要航路で事業を展開しています。また、APL・現代商船と92隻のコンテナ船隊を誇るアライアンス(TNWA)を結成、世界のコンテナ船事業をリードしています。当社グループは、最新技術を駆使した情報システムや更なる船隊整備の推進、弛みないコスト削減への取り組みなどによって業務効率を大幅に上げ、世界市場におけるプレゼンスを高めています。日本・米国・タイにおいて展開するコンテナ・ターミナル事業も、このセグメントに含まれています。

当社は273隻からなる世界最大のドライバルク船隊を擁し、鉄鉱石、原料炭、電力炭、木材チップ、穀物、その他撒積み貨物の輸送を行っています。自動車船では、73隻のコア船隊による最高品質のサービスを提供し、顧客からの高い信頼を得ています。エネルギー輸送分野はフルラインアップのサービスを誇り、137隻の油送船によって原油・石油製品・ケミカル・LPGなどを輸送する一方、LNG船部門は47隻のプロジェクトに関与して世界をリードしています。本セグメントは、中・長期契約によって確定している収益の割合が高いことが特徴となっています。

2003年6月に物流事業室をロジスティクス事業部に改編し、グループ全体のロジスティクス事業戦略を立案・推進する本社機能を集約し強化しました。当社ロジスティクス事業は、事業セグメント間のシナジー効果を最大化することを目指し、「マーケット・イン」ポリシーに基づく顧客ニーズにあわせたサービスの構築、中国市場における戦略的な投資を行っています。2005年5月、(株)近鉄エクスプレスと戦略的業務提携で合意、事業基盤の拡大を一気に推し進めます。

当事業は、広範囲な国内輸送ネットワークによって、多様で高度な輸送サービスを提供しています。30ノットの高速貨物フェリーの運航や、共同配船によるRORO船サービスの開始、関西汽船(株)の持分法適用関連会社化などによって、当社は事業の強化に努めています。また、当社グループのサービスは、地球環境保全を目的とする日本政府の「モーダルシフト政策」のモデルとしても、注目を集めています。

当セグメントの中心は、国内有数の規模を有する曳船事業、及び不動産事業です。当社は2005年3月期、オフィスビル及びマンションの賃貸業を展開するダイビル(株)を連結子会社としました。その他の事業としては、マリンコンサルティング・マリンエンジニアリング・商社・人材派遣業などがあり、ほとんどが海運業に関連した分野を中心として事業を展開しています。「にっぽん丸」による客船事業も、このセグメントに含まれます。

当セグメントには船舶運航業、貸船業、船舶管理業、金融業などが含まれ、主として当社グループの管理部門業務を提供しています。

セグメント別売上高構成比

